

ノーベル平和賞

平成 24 年 10 月
在ノルウェー日本国大使館

1. ノーベル平和賞 (Nobel Peace Prize)

アルフレッド・ノーベル (Mr. Alfred Nobel, 1833-1896) の遺言によって創設されたノーベル賞 5 部門 (現在は 6 部門) のうちの一つ。同平和賞は、1901 年よりノーベルの遺言に従って、ノーベルの命日である 12 月 10 日に「*国家間の友好関係、軍備の削減・廃止、及び平和会議の開催・推進のために最大・最善の貢献をした人物・団体*」に与えられる。選考はノルウェー・ノーベル委員会が行う。賞金は 800 万スウェーデンクローネ。

2. ノルウェー・ノーベル委員会 (The Norwegian Nobel Committee)

ノルウェー国会によって任命された 5 名から構成される。委員任命に関する規定では、委員の任期は 6 年であり、再任も可能とされている。委員のメンバー構成は、国会における政党間のバランスが相対的に反映されることとなっている。メンバーは現職の国会議員あるいは閣僚であってはならないと決められているが、特に他の資格制限はない (初期の頃は、国会議員や閣僚が委員を務めることは通常のことであったが、委員会のノルウェー当局からの中立性を確保するため、1936 年から閣僚が、1977 年から現職の国会議員が委員を務めることが禁止された。同時に委員会の名称が、「ノルウェー国会ノーベル委員会 (The Nobel Committee of the Norwegian Storting)」から現在の「ノルウェー・ノーベル委員会 (The Norwegian Nobel Committee)」に変更された)。委員がノルウェー国籍を保持していることは条件ではないが、従来の委員は全員ノルウェー人。

2009 年より、同委員会委員長はヤーグラン氏 (Mr. Thorbjørn Jagland, 1950 年生まれ。元首相 (1996-97 年)、元外相 (2000-01 年)、国会議長 (2005-09 年、労働党) が務める。

3. ノルウェー・ノーベル研究所 (The Norwegian Nobel Institute)

1904 年に設立。同研究所の最も重要な任務は、ノーベル委員会によるノーベル平和受賞者決定に係わる作業に貢献することである。同研究所は政治史、国際法、平和、国際経済等に関する書籍約 20 万冊を所蔵する図書室及び独自の研究部門を有する。同研究所は各種セミナー等を開催している他、各分野における専門家を招き「ノーベルシンポジウム」を開催。同シンポジウムは意見交換、相互理解の場として活用されている。

1990 年より同研究所所長はルンネスタ氏 (Mr. Geir Lundestad, 1945 年生まれ、オスロ大学教授 (歴史学)) が務める。同研究所所長は、ノーベル委員会の事務局長も兼任する。

4. ノーベル平和賞授与までの経緯

前年の9月末	各国に、来年度のノーベル平和賞候補者推薦要項が届く（候補者推薦の資格を持つのは、各国閣僚、国会議員、大学教授、過去のノーベル平和賞受賞者、過去・現在のノーベル委員会委員等）
2月1日	推薦締め切り（2012年は231件の推薦（43の団体を含む）があった。）
2月～9月中旬	選考実施（まずノーベル委員会が候補者を、5～20人の「ショートリスト」に絞り込む。続いて、委員会の事務局長のもと、常任アドバイザー、あるいは候補者に関する知識故に招かれる専門家からなるアドバイザー・グループによって、ショートリストの候補者（団体）に関する報告書が作成される（アドバイザーは選考には関与しない）。決定に際してはノーベル委員会全員の意見一致を目指す。期限までに全会一致とならない場合は、多数決の結果に基づいて決定される。候補者名及び選考過程は、決定の日から50年間非公開。）
10月中旬	ノルウェー・ノーベル研究所にて受賞者発表（ノーベル委員会委員長より、ノルウェー語、英語による発表）
12月10日	オスロ市庁舎にてノーベル平和賞授与式（国王、皇太子、首相、各国大使、各界代表などが出席。ノーベル委員会委員長によるスピーチの後、受賞者によるスピーチ（Nobel Lecture：ノーベル賞記念講演）が行われる。

5. ノーベル平和賞はなぜノルウェーで決定されるのか。

ノーベルの遺言に理由を述べた記述がないため不明であるが、主な説は以下のとおり。

- (1) ノーベル生存当時、スウェーデンとの同君連合下にあったノルウェーへの配慮。
- (2) ノルウェーの国際紛争の仲介・仲裁、平和的解決等への貢献。
- (3) 当時平和活動におおいに熱意を示していた、ノルウェーを代表する詩人であり、ノーベル文学賞受賞者（1903年受賞）であるビョルンソン（Mr. Bjørnstjerne Bjørnson、1832－1910、ノルウェー国歌の作詞者）へのノーベル自身の傾倒。

6. ノーベル平和センター（Nobel Peace Center）

2005年6月に開館。同センターは、ノーベル平和賞歴代受賞者の紹介、アルフレッド・ノーベルの生涯や発明品等に関する展示、ノーベル平和賞及び国際平和をテーマとした各種展示を行っている。

ノルウェー・ノーベル委員会メンバー

(2012年10月現在)

トールビョルン・ヤーグラン (Mr. Thorbjørn Jagland、1950ー)

労働党所属。国会議員 (1993ー2009)。

首相 (1996ー1997)、外相 (2000ー2001)、国会議長 (2005ー2009)。

2009年よりノルウェー・ノーベル委員会の委員。任期 2009ー2014年。

2009年より委員長。

カーシ・クルマン・フィーヴェ (Ms. Kaci Kullmann Five, 1951ー)

会社経営。保守党所属。国会議員 (1981ー1997)。

商務海運大臣 (1989ー1990)。

2003年よりノルウェー・ノーベル委員会の委員。任期 2009ー2014年。

2009年より副委員長。

ベリット・ライシュ＝アンデセン (Ms. Berit Reiss-Andersen, 1954ー)

弁護士。労働党所属。法務警察省副大臣 (1996ー1997)。またミステリー作家でもある。

2011年よりノルウェー・ノーベル委員会の委員。任期 2011ー2016年。

インゲル＝マリーエ・イッテルホーン (Ms. Inger-Marie Ytterhorn, 1941ー)

進歩党所属。国会議員 (1989ー1993)。

2000年よりノルウェー・ノーベル委員会の委員。2011年に再任。任期 2006ー2016年。

オーゴット・ヴァッレ (Ms. Ågot Valle, 1945ー)

左派社会党所属。国会議員 (1997ー2009)。

下院議長 (2001ー2005)。

2009年よりノルウェー・ノーベル委員会の委員。任期 2009ー2014年。

ノーベル平和賞受賞者(1990年～)

受賞年	受賞者	受賞者出身国
1990	ミハイル・ゴルバチョフ	ソビエト連邦
1991	アウン・サン・スーチー	ミャンマー
1992	リゴベルタ・メンチュウ	グアテマラ
1993	ネルソン・マンデラ フレデリック・デクラーク	南アフリカ 南アフリカ
1994	ヤセル・アラファト シモン・ペレス イツハク・ラビン	パレスチナ イスラエル イスラエル
1995	バグウォッシュ会議 ジョセフ・ロートブラット	イギリス
1996	カルロス・ベロ ホセ・ラモス・ホルタ	東ティモール 東ティモール
1997	地雷禁止国際キャンペーン(ICBL) ジョディ・ウィリアムズ	アメリカ
1998	ジョン・ヒューム デヴィッド・トリンブル	北アイルランド 北アイルランド
1999	国境なき医師団	
2000	金大中	韓国
2001	国際連合(U.N.) コフィー・アナン	ガーナ共和国
2002	ジミー・カーター	アメリカ
2003	シーリーン・エバーディー	イラン
2004	ワンガリ・マータイ	ケニア
2005	国際原子力機関(IAEA) ムハンマド・エルバラダイ	エジプト

2006	グラミン銀行 ムハンマド・ユヌス	バングラデシュ
2007	気候変動に関する政府間パネル(IPCC) アル・ゴア	アメリカ
2008	マルティ・アハティサーリ	フィンランド
2009	バラク・オバマ	アメリカ
2010	劉曉波	中国
2011	エレン・ジョンソン・サーリーフ レイマ・ボウイ タワクル・カルマン	リベリア リベリア イエメン
2012	欧州連合(EU)	